



添付資料



(仮称)お茶と宇治のまち歴史公園整備運営事業 基本設計書



2019年8月



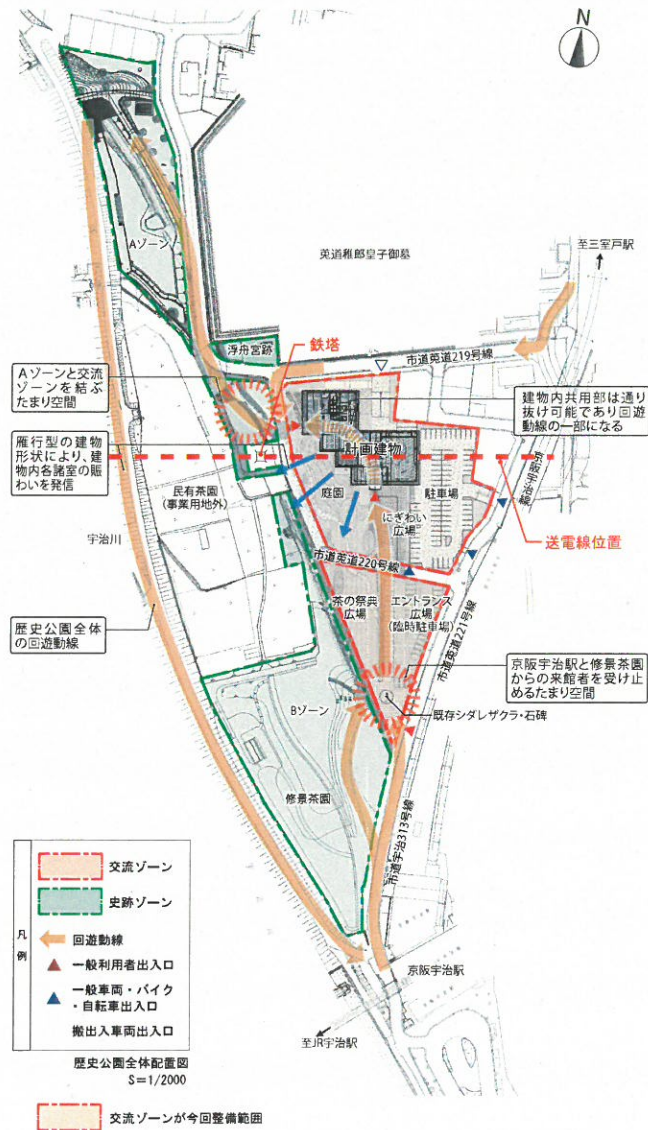
Architects, Engineers & Consultants

※設計内容は、実施設計において確定します。

配置計画

与条件整理【周辺状況】

- ①歴史公園は史跡ゾーンと交流ゾーンから成り、今回交流ゾーンが整備範囲である。
- ②敷地は京阪宇治駅と宇治川にはさまれた、三角形の土地。菟道220号線が敷地を南北に分割しており、交流館は北側敷地に計画する。
- ③交流館は、歴史公園北側の史跡ゾーンと南側の史跡ゾーンの中間に位置し、来館者はJR宇治駅、京阪宇治駅、京阪三室戸駅の利用が想定される。
- ④南北の歴史ゾーンの間には民有茶園や電力会社所有の鉄塔があり、一部アクセスの確保が必要。
- ⑤敷地北側には菟道稚郎皇子御墓や、浮舟宮跡などがあり、緑豊かな環境である。
- ⑥敷地西側に鉄塔があり、送電線による建物高さの制限がある。(現況レベルより15.81m以下)



配置計画の方針

- ①南北の史跡ゾーンを含む宇治の観光資源全体への「回遊性」をキーワードに、交流館だけにとどまらない、宇治の観光体験を促す。
- ②各方面からのアクセスを想定したうえで、明確な歩車分離を実現することで子供やお年寄り、身体障害者を含むすべての来館者の安全性に配慮する。
- ③活気あふれる施設とするため、様々なにぎわいの演出を工夫する。配置計画においては、各種イベントに活用可能な外部空間の多様性の充実を図る。

配置計画

- ①敷地北側に計画建物、東側に駐車場を配置することで、南側の広場を広くとる計画とする。メインのアクセスである京阪宇治駅からの顔となる広場を有効に活用できる計画とする。
- ②JR宇治駅、京阪宇治駅、京阪三室戸駅からのアクセスを考慮し、2か所から交流館にアプローチできる計画とする。
- ③市道菟道220号線にはバリカーを設置し、歩行者専用道路とする。
- ④にぎわい拠点として様々なイベント等に活用可能な3つの広場を計画する。
 - ・エントランス広場：臨時駐車場としても活用可能。
 - ・茶の祭典広場：広々とした芝生の広場。
 - ・にぎわい広場：建物と連携した活用が可能な計画。
- ⑤施設に沿って配置した3つの庭を計画する。
- ⑥北側・南側敷地の中間を通る市道220号線の舗装を一部やり替え、2つの敷地の一体感を生み出す。

動線計画

- ①駐車場を東側にまとめることで歩車分離を図る。
- ②管理車両は北側アクセスとし、一般利用者と動線を分けることで安全な計画とする。

駐車場計画

- ①北側敷地に常設駐車場を73台計画する。そのうち3台が車いす対応駐車場とする。
- ②エントランス広場を臨時駐車場として活用可能な設えとし、47台計画する。
- ③臨時駐車場利用時はバリカーの管理により、市道菟道220号線の一部を車両通行可能とすることで、駐車ゲートは常設駐車場の1か所とし、一元管理が可能な計画とする。
- ④駐輪場10台、バイク置場は5台計画。
- ⑤エントランス広場の駐車場利用時や車両通行の必要がある際は、職員対応により車両通行が可能な計画とする。



平面・動線計画

平面計画の方針

- ①誰でも気軽に訪れやすいよう、にぎわいを演出する。
- ②来館者が憩い、くつろぐことができる開放的な空間とする。
- ③維持管理運営しやすい平面・動線計画とする。

平面計画（1階）

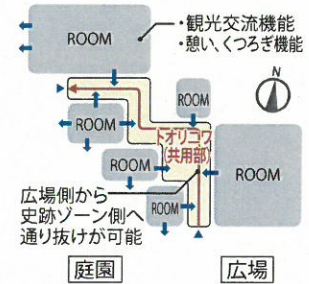
- ①設計 GL=TP+17.10、1FL=TP+17.20 とする。
- ②2か所の出入口をつなぐ、通り抜け可能なトオリニワ（施設中央の共用空間）を計画する。
- ③トオリニワを中心に東側にミュージアム（有料ゾーン）、西側に来館者ゾーン（無料ゾーン）、北側に管理ゾーンを配置することで明確なゾーニング計画とする。
- ④トオリニワは通り抜け空間として機能するほか、エントランスホールをはじめ、ガイダンスゾーンやライブラリーゾーンなど来館者のたまり空間を計画する。外部のテラスを含め施設内の随所にたまり空間を設けることで、来館者がくつろげるよう配慮する。
- ⑤来館者ゾーンの各室（体験室、ショップ、レストラン）はガラス張りとする。トオリニワに面してガラス張りの各室を計画することでアクティビティのにぎわいがにじみでる計画とする。
- ⑥体験室に付属した準備室や、直接外部から出入り可能な出入口により、利便性の高い計画とする。
- ⑦レストランは、50席程度を計画。
- ⑧庭園に面して縁側状にテラスを計画する。外部から体験室へのアクセス機能の他、回遊動線やたまり空間としても機能する。
- ⑨管理ゾーンは建物北側に集約配置することで、管理動線を短くする。
- ⑩搬出入スペースや荷捌スペースは建物北側に計画し、大型車両が直接寄りつける計画とすることで、準備作業や梱包作業に配慮した計画とする。
- ⑪収蔵物は前室経由し、専用EVで2階へ上げる計画とする。

誰もが入りやすい施設

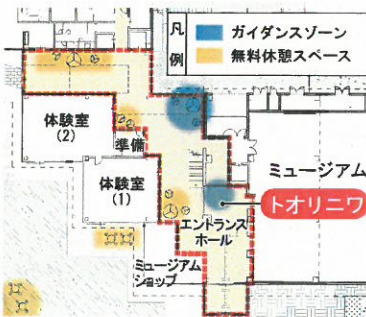
内外の様子が互いに見え、誰でも自由に立寄ることができる動線をつくり、賑わいを創出します。



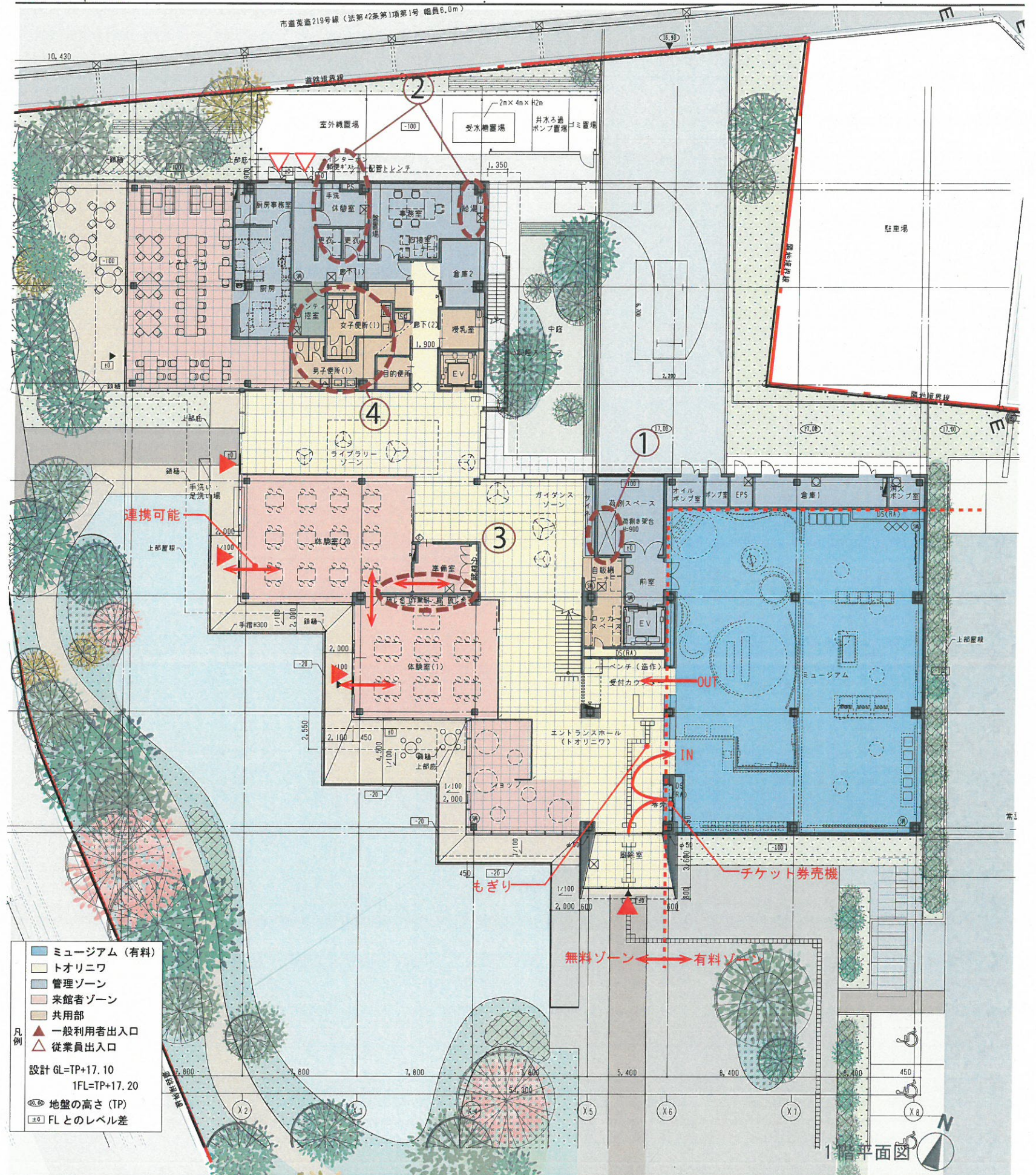
トオリニワに面して各諸室を配置
各諸室のにぎわいを表出



トオリニワのダイアグラム



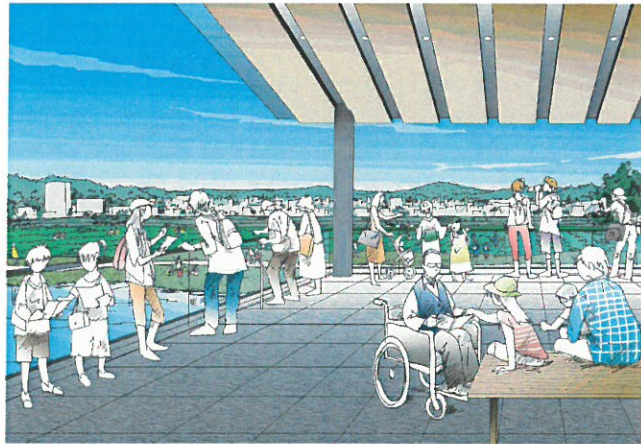
トオリニワのゾーニング



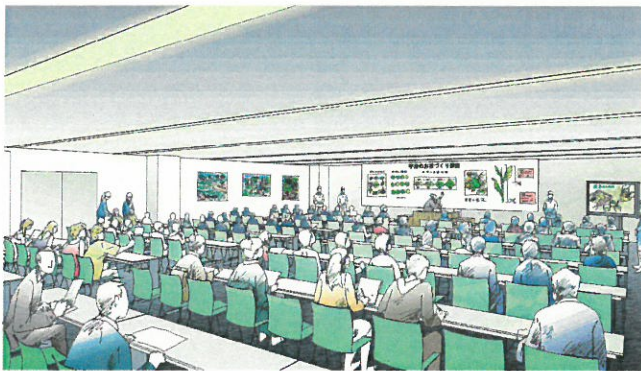
平面・動線計画

平面計画 (2階)

- ①北側に講座会議室、西側に展望テラス、東側に収蔵庫等とし、来館者、管理ゾーンを明確にゾーニング分けする。
- ②講座会議室は、約 200 人収容可能な広さを確保する。
移動間仕切壁によって分割利用が可能な計画とする。
- ③展望テラスでは、宇治川への眺望を確保する。
- ④収蔵庫計画は二重壁とし、1階から専用EV、前室を経由した動線計画とする。



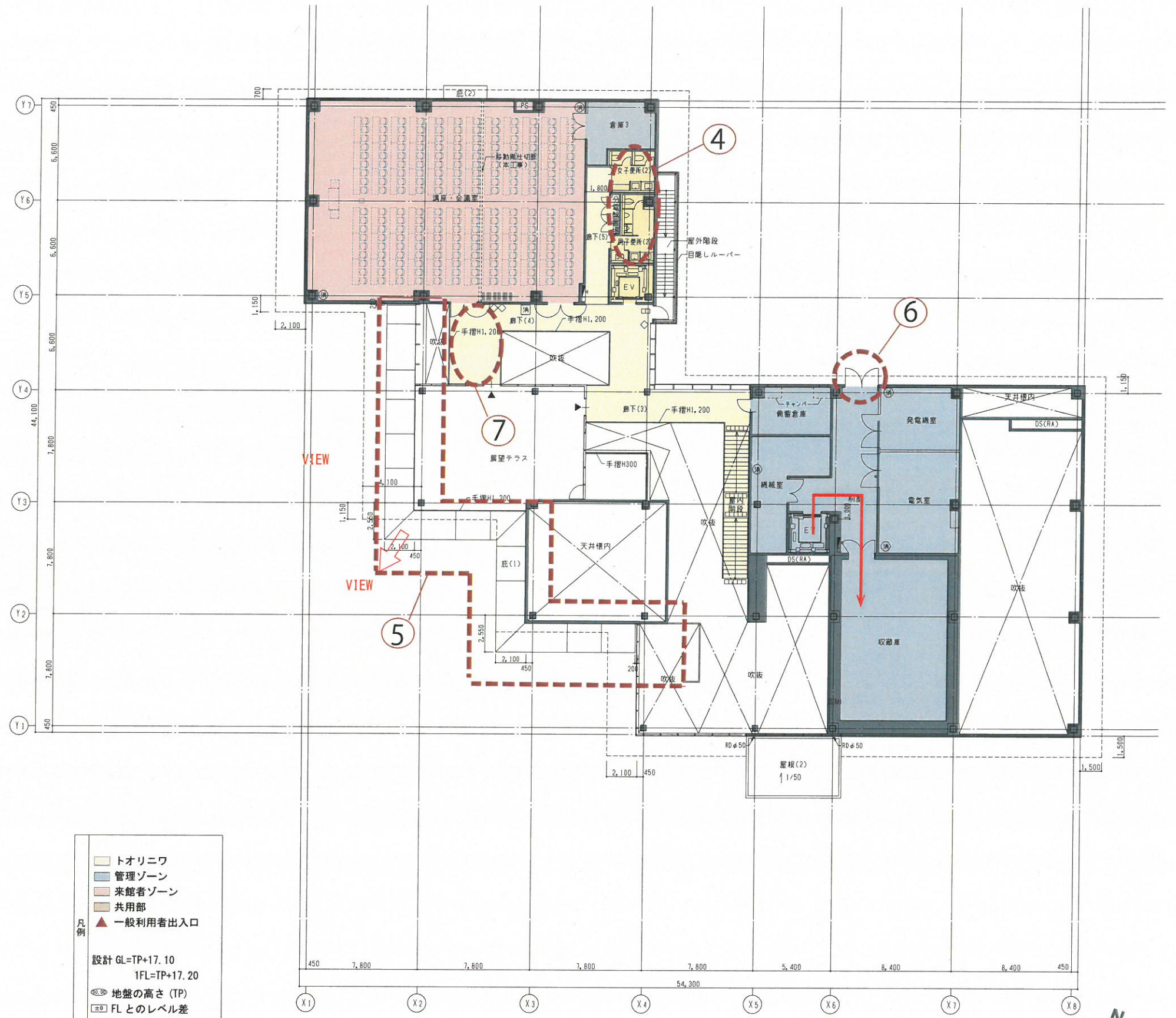
展望テラスのイメージ



講義室のイメージ



敷地南側上空からの鳥瞰イメージ



凡例

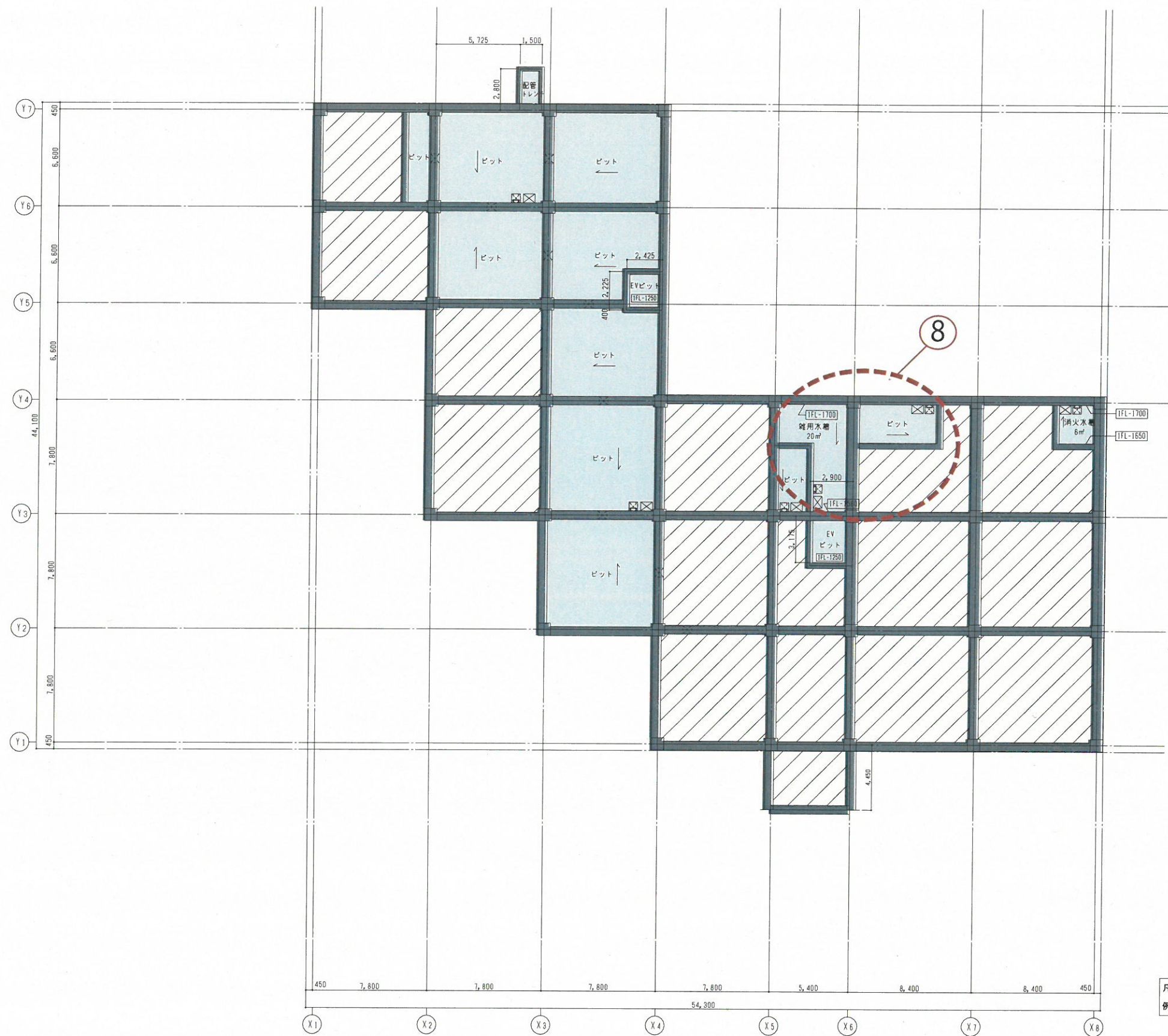
- トオリニワ
- 管理ゾーン
- 来館者ゾーン
- 共用部
- ▲ 一般利用者出入口

設計 GL=TP+17.10
1FL=TP+17.20

- ⊙ 地盤の高さ (TP)
- ≡ FL とのレベル差

2階平面図

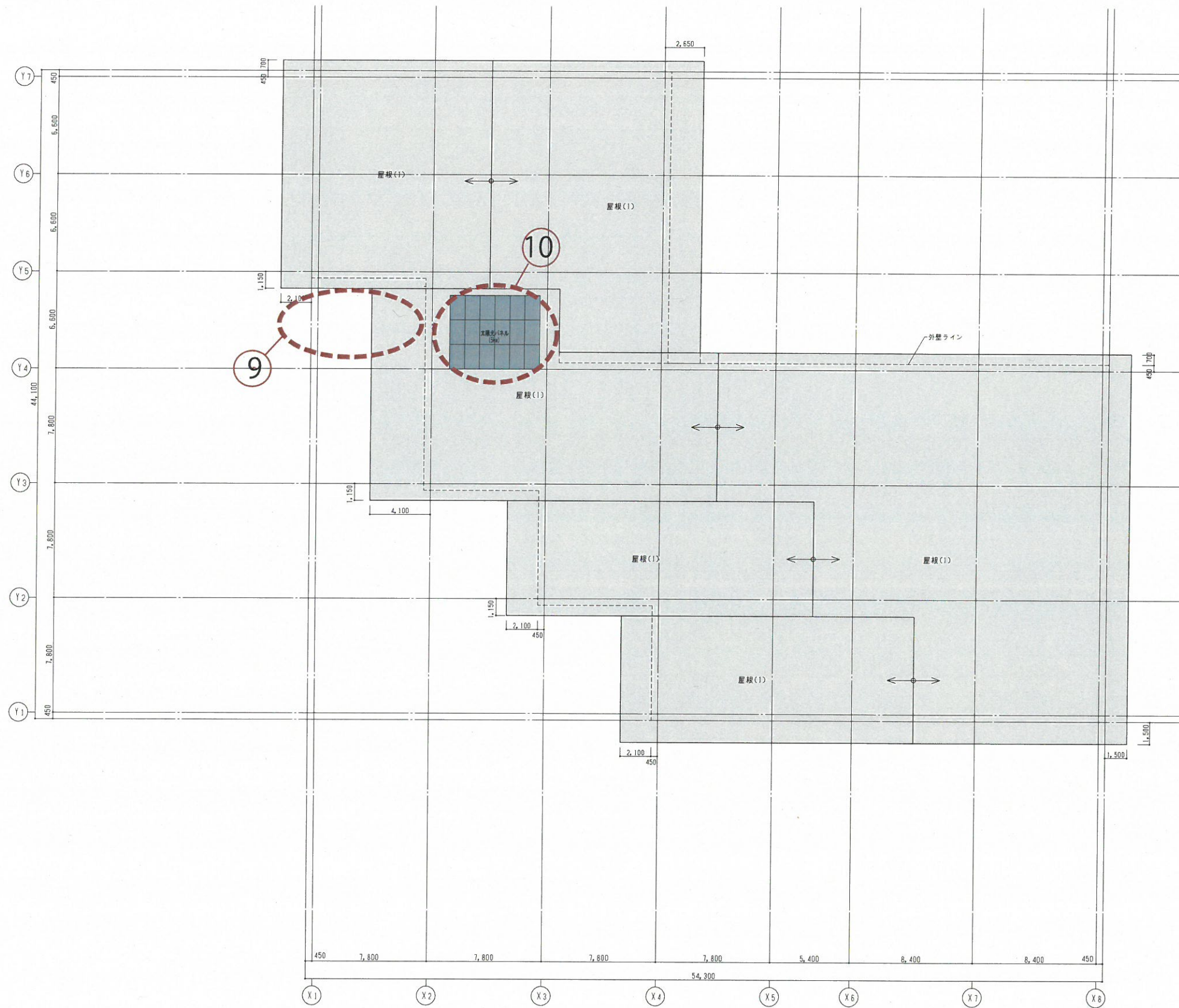




凡例 埋戻し

ピット図





立面計画

与条件整理

①宇治市の景観計画、風致地区条例に適合させる。

【景観計画】 計画敷地は「歴史的遺産周辺地区」に該当

＜地区の概要＞

平等院(世界遺産)、宇治上神社(世界遺産)および三室戸寺の周辺にあたり、大半が風致地区(高さ制限15m)となっており、他に風致地区のかからない住居系用途地域および市街化調整区域も含まれる。

意匠・形態	屋根	周辺の建築物に合わせた屋根形状とする。
	壁面設備	給排水管、ダクト等は、道路側の外壁に露出させないように設置する。
	屋上設備	屋上に設備は、設けない。
	屋外階段	建築物本体と一体のデザインとし、露出しない。
	ベランダ バルコニー 開放廊下	建築物本体と一体のデザインとなるよう工夫する。
色彩	建具	建築物の外観に係るアルミその他金属の建具等は、壁面の色彩と調和させる。
	屋根	光沢のない灰色を基調とするなど低彩度のものとする。
緑化(植樹・植栽)	外壁	基調となる色彩は、落ち着いた低彩度のものとする。
	緑化(植樹・植栽)	世界遺産および歴史的遺産の周辺の豊かな自然景観を広げるため、敷地内道路側の植樹・植栽を積極的に行う。

【風致地区条例】

・計画敷地は「宇治普通風致地区」に該当

・建蔽率:4/10以下

・外壁後退距離:道路境界より2m以上。その他の部分にあっては1m以上

・建物高さ:15m以下(建築物の地盤面からの算定による)

・屋根形状:勾配を有する屋根で建築物がすべて覆われていること。切妻屋根、寄棟屋根、入母屋屋根とし、屋根が巨大又は長大な印象を与えないような配慮を行う。

軒の出は60cm以上とする。切妻屋根の場合、切妻屋根のけらばの出寸法30cm以上とする。

屋根勾配は3/10~4.5/10とする。

立面計画の方針

①宇治のまちなみに調和する、切り妻屋根が連続した外観とする。

②ボリュームが分節することで、周辺への圧迫感を軽減する。

③ガラス張りを有効に活用し、外部ににぎわいをもたらす計画とする。

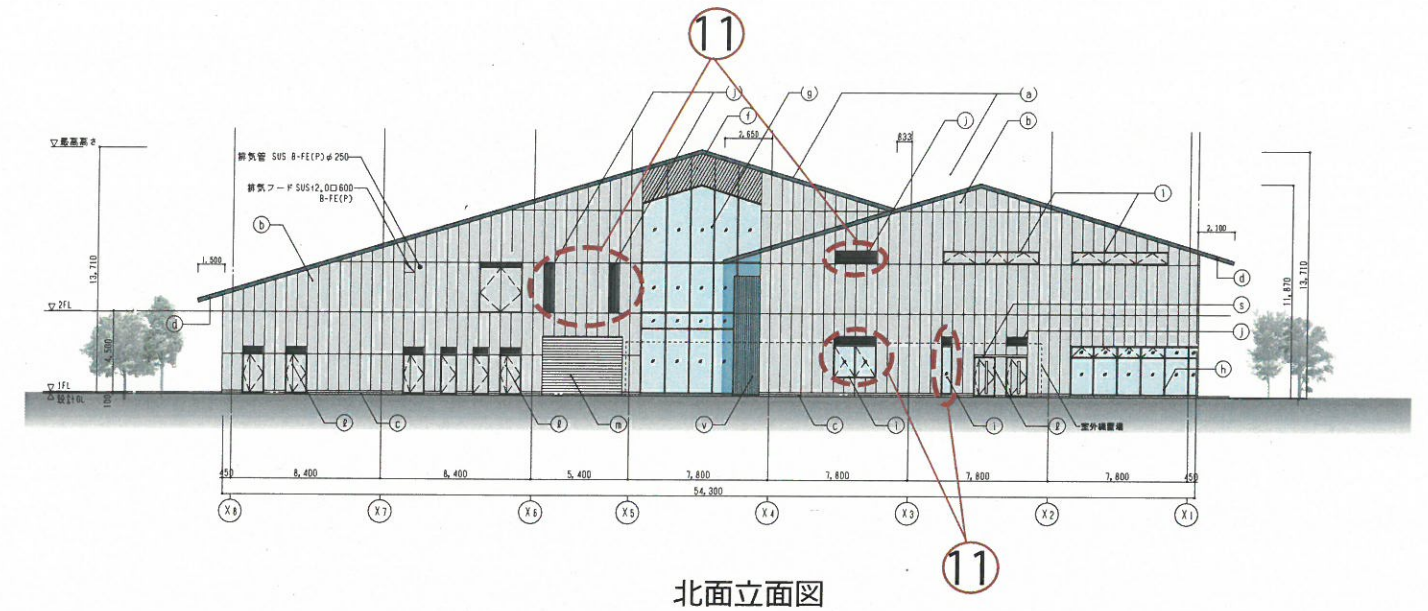
立面計画

①宇治の長屋の特徴である軒の深いおらかな切妻屋根とし、宇治のまちなみに調和する外観とする。

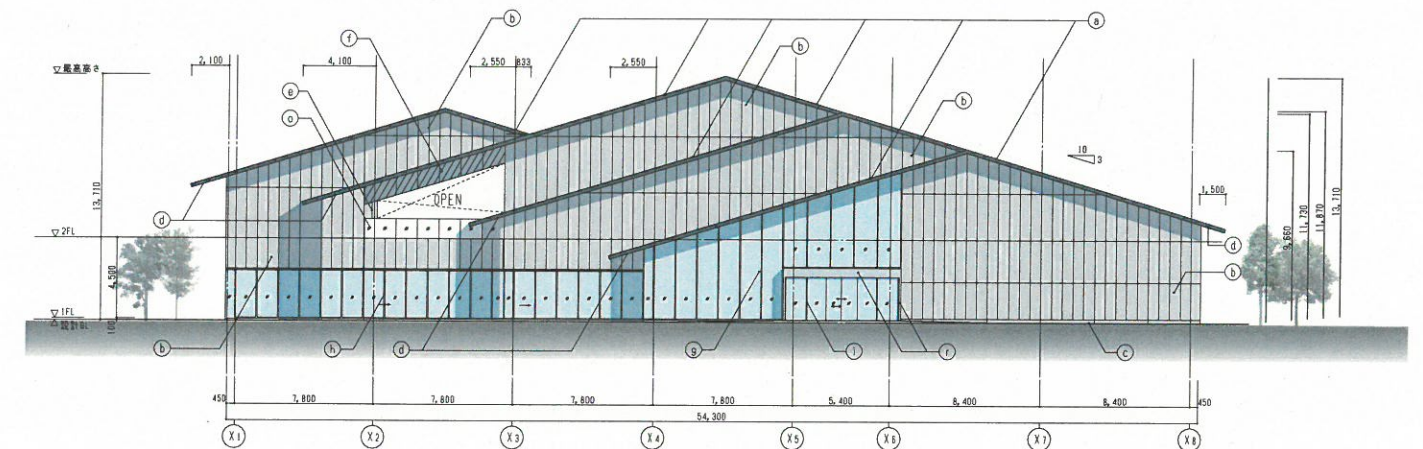
②建物形状は、屋根の棟の位置をずらした雁行型とすることで建物のボリュームを分節する。周辺への圧迫感を軽減し、ヒューマンスケールなまちなみに合う建物とする。

③3つの庭に面してガラス張りとすることで、外部へのにぎわいを演出する。

④風致地区条例より、屋根勾配は規制値の中で一番緩やかな勾配で、屋根がおおらかに見える3/10とした。



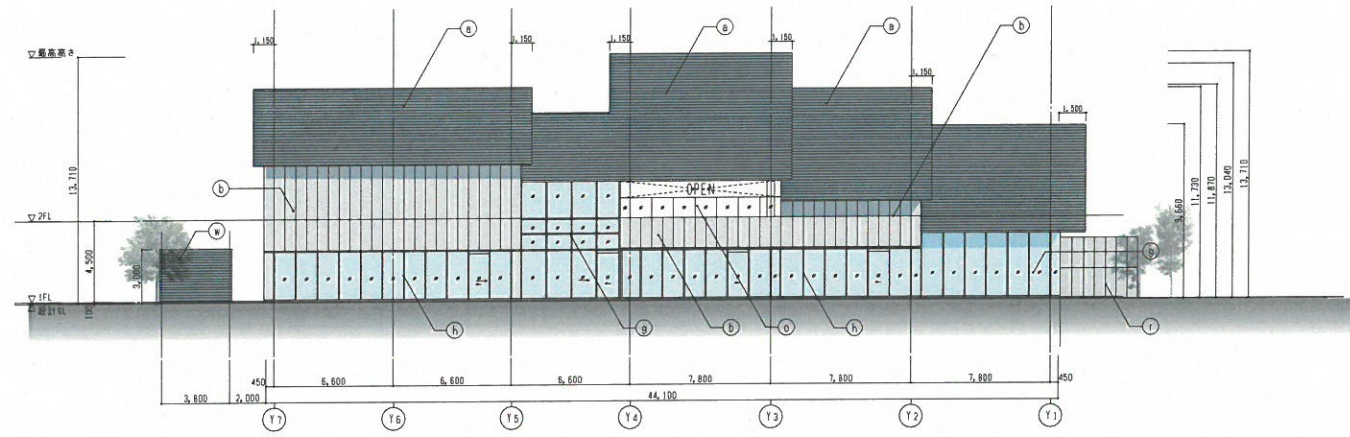
北面立面図



南面立面図

Ⓐ 屋根(1)	カラーガルバリウム鋼板t0.4	Ⓓ 軒天	ケイ酸カルシウム板t12 AEP	Ⓖ 外部建具(1)	アルミカーテンウォール B-2(ダイヤラインなし)	Ⓙ 外部建具(3)	アルミガラリ B-FE(P)	Ⓜ 外部建具(6)	鋼製重量シャッター SOP	ⓐ 手摺(1)	手摺 H1200	Ⓡ 風除空壁パネル	st-PL 12.3 リン酸亜鉛処理	Ⓤ 樋	銅樋
Ⓑ 外壁(1)	ALC板t100+外装薄塗材F	Ⓛ 柱	耐火塗装(平滑仕上)	Ⓡ 外部建具(2)	アルミ製建具 B-2(ダイヤラインなし)	Ⓚ 外部建具(4)	スチールガラリ 錆止め+SOP	Ⓝ 屋外階段	鉄骨階段 溶融亜鉛メッキの上SOP	ⓑ 手摺(2)	st FB 9x32@110 溶融亜鉛メッキの上SOP H1100	Ⓢ アルミ庇	既成アルミ庇	Ⓥ 目隠しルーバー(1)	アルミルーバー B-FE(P) 30x100@60
Ⓒ 立上り腰壁	RC打放し補修+DP	Ⓧ 幕板	アルミカットパネルt3.0 B-FE(P)	Ⓢ 外部建具(3)	アルミ製建具 B-FE(P)	Ⓚ 外部建具(5)	スチール扉 錆止め+SOP			ⓓ 手摺(3)	st FB 12x32@900 溶融亜鉛メッキの上SOP H300			Ⓦ 目隠しルーバー(2)	フレクサラム B-FE(P) 30x39@60

立面計画

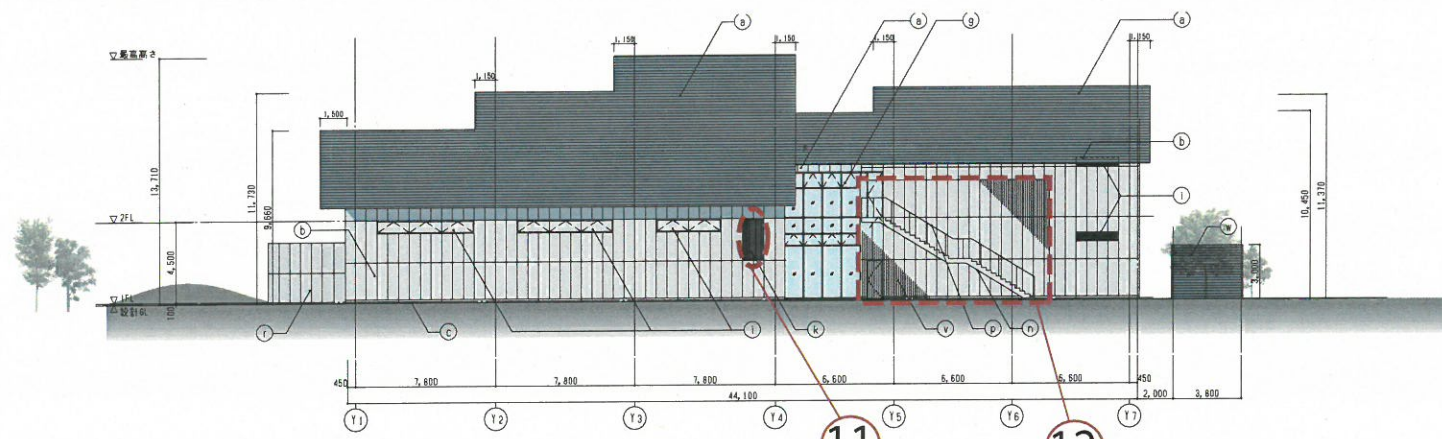


西面立面图



野点の庭より施設を望む

9



東面立面图

11

12

Ⓐ 屋根(1)	カラーガルバリウム鋼板t0.4	Ⓓ 軒天	ケイ酸カルシウム板t12 AEP	Ⓔ 外部建具(1)	アルミカーテンウォール B-2(ダイスラインなし)	Ⓜ 外部建具(6)	鋼製重量シャッター SOP	ⓐ 手摺(1)	手摺 H1200	Ⓡ 風除室壁パネル	st-PL t2.3 リン酸亜鉛処理	Ⓤ 樋	銅樋
Ⓑ 外壁(1)	ALC板t100+外装薄塗材E	Ⓔ 柱	耐火塗装(平滑仕上)	Ⓝ 外部建具(2)	アルミ製建具 B-2(ダイスラインなし)	Ⓨ 外部建具(4)	スチールガラリ 錆止め+SOP	ⓑ 手摺(2)	st FB 9x32@110 溶融亜鉛メッキの上SOP H1100	Ⓢ アルミ庇	既成アルミ庇	Ⓥ 目隠しルーバー(1)	アルミルーバー B-FE(P) 30x100@60
Ⓒ 立上り壁	RC打放し補修+DP	Ⓕ 幕板	アルミカットパネルt3.0 B-FE(P)	Ⓖ 外部建具(3)	アルミ製建具 B-FE(P)	Ⓚ 外部建具(5)	スチール扉 錆止め+SOP	Ⓒ 手摺(3)	st FB 12x32@900 溶融亜鉛メッキの上SOP H300			Ⓦ 目隠しルーバー(2)	フレクサラム B-FE(P) 30x39@60

断面計画

与条件整理

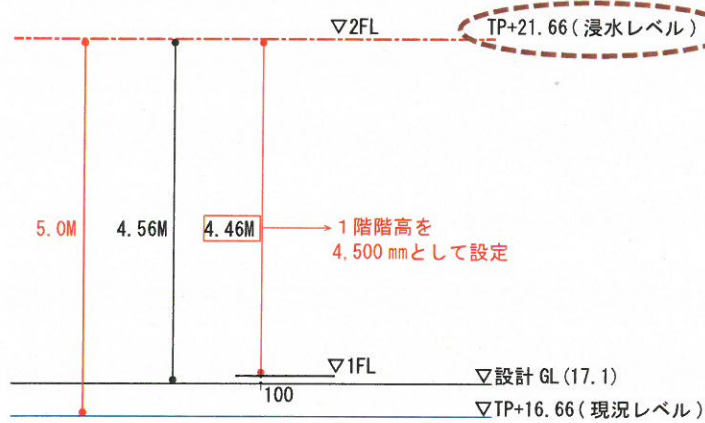
- ①ハザードマップより浸水レベルはTP+16.66より5mとなっている。
- ②敷地上空を高圧線が通るため、近接部分は建物高さTP+17.60を基準とし、15.81m以下にする。
- ③風致地区による高さ制限15m未達が条件となる。

断面計画の方針

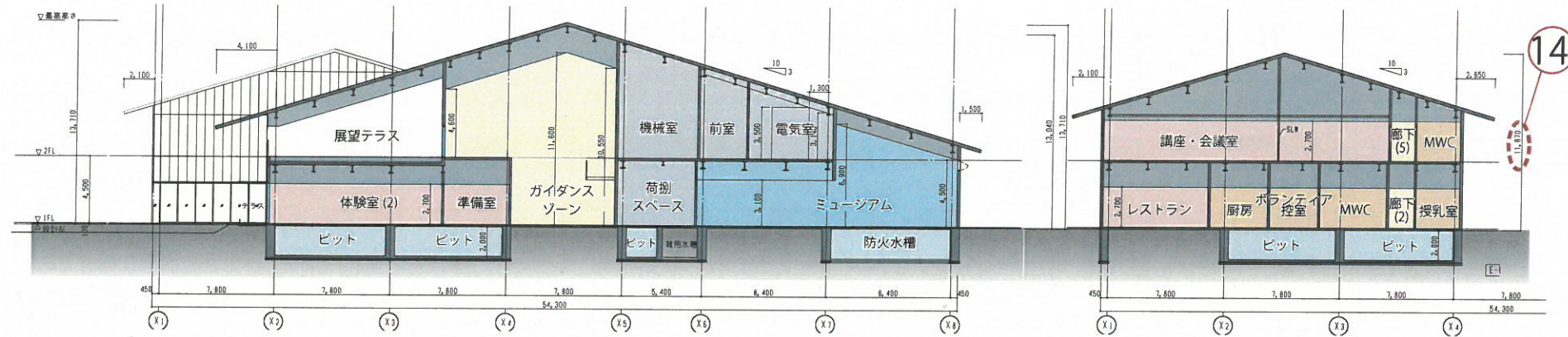
- ①災害時の避難場所となる講座・会議室や非常用発電機、収蔵庫は浸水レベル以上に計画する。
- ②共用部に吹抜けを設け、開放的な空間とする。

断面計画

- ①周辺道路とのすりつけを考慮し、設計GL=TP+17.10、1FL=TP+17.20で設定する。
- ②高圧線の規制高さを遵守する。規制の基準となるTP+17.60より15.81m以下とするため、建物高さ16.31m未満とする。
- ③風致地区の高さ制限により、建物高さは地盤面より15m未満とする。
- ④2階床レベルは現況レベルよりも5m高いレベルに計画し、災害時の避難所となる講座・会議室や非常用発電機、収蔵庫を配置する。

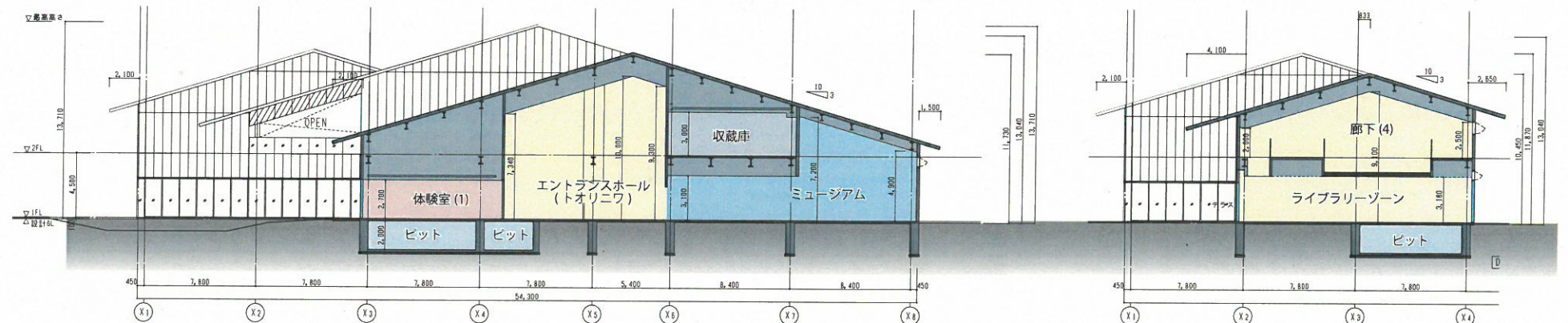


- ⑤電気室はキュービクル配置部分で有効高さ3500mmを確保する。
- ⑥ピットは必要な水槽、配管スペースのみとし、残りは埋戻しとする。



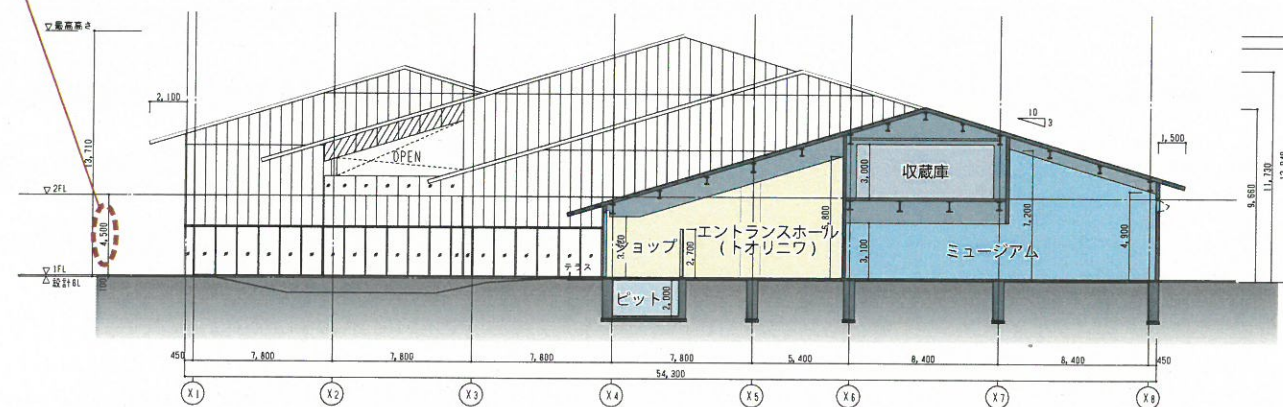
C-C' 断面図

E-E' 断面図

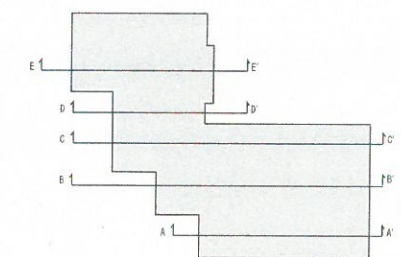


B-B' 断面図

D-D' 断面図



A-A' 断面図



14

13

外装計画

【計画方針】

- ①宇治のまちと周辺のみどりと調和する色合い、素材を選定する。
- ②お茶のミュージアムという特徴を考慮し、日本的な和の要素を現代的に解釈し取り入れる。
現代的なシンプルでミニマムなデザイン・色彩計画とするとともに、外国人観光客にも楽しんでもらえるような和モダンな外装を計画する。

【外装計画】

屋根：カラーガルバリウム鋼板屋根（一文字葺き）	色彩 N-20 程度
外壁：ALC材の上、外装薄塗材（左官調仕上げ）	色彩 N-40 程度
開口部：アルミカーテンウォール、アルミ製建具	建具枠色シルバーまたはブラックを想定
外部建具：スチール製建具錆止め+SOP仕上げ	色彩は外壁と同色、3分艶程度
外部手摺：H1200	シンプルな和モダンなデザインとする
※ 左官調仕上げの耐用年数15年程度	



外観イメージ



屋根仕上げイメージ



外装材イメージ



外壁材仕上げイメージ



手摺イメージ①



手摺イメージ②

※パース・写真はイメージのため、実際の納まりとは異なります。

内装計画

【計画方針】

- ①お茶のミュージアムという特徴を考慮し、日本的な和の要素を現代的に解釈し取り入れる。
- ②清掃・メンテナンス性の良い仕上げ材を選定する。

【内装計画】

<トオリニワ>

- ①床は落ち着いたダークグレーの磁器質タイルとすることで空間全体を締めるようにする。
- ②壁はガラスや明るい色で開放感のある計画とする。
- ③柱はダークグレーとし、存在感を消すことで他を際立たせ、開放的な空間イメージとする。
- ④天井は木調の仕上げ材を採用し、日本的なイメージを演出する。
- ⑤トオリニワとショップ、体験室の間の間仕切りはガラス張りとし、各室の様子がトオリニワから望める計画とする。
- ⑥壁や柱を有効活用しサイン計画や展示のグラフィックを計画する。

<レストラン>

- ①床はトオリニワと同じ磁器質タイルと一体感や連続性を考慮する。
- ②柱はダークグレーとし存在感を消すことで周囲のみどりや家具を際立たせるようにする。
- ③天井は木調としトオリニワからの連続性を考慮し、周辺のみどりとも調和する計画とする。
- ④家具は部分的にカラフルなものを採用することで楽しい空間を演出する。

<主な諸室の仕上げ計画>

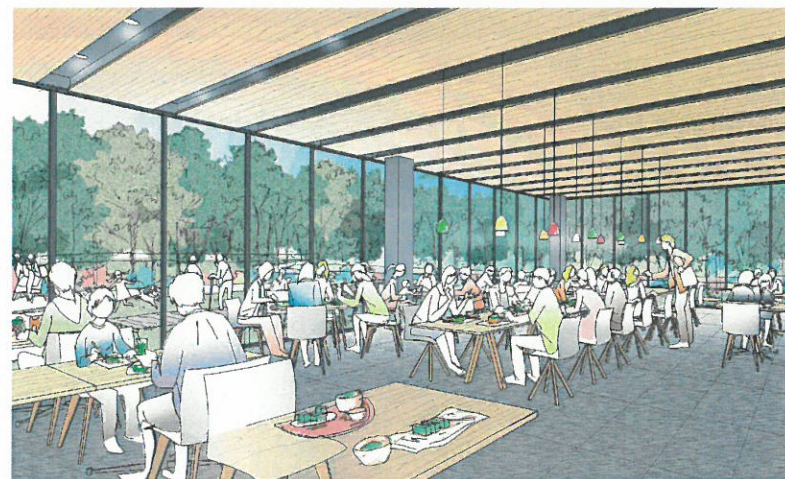
室名	床	壁	天井
エントランスホール (トオリニワ)	磁器タイル 600x600	EP	木調シート (不燃)
ミュージアムショップ	磁器タイル 600x600	EP、ガラスパーティション	木調シート (不燃)
体験室	ビニル床タイル	EP	EP
ミュージアム	タイルカーペット	EP	EP
レストラン 喫茶	磁器タイル 600x600	木調シート (不燃)	木調シート (不燃)
講座 会議室	タイルカーペット	ビニルクロス	EP
便所	ビニル床シート	不燃化粧板	ロックウール化粧吸音板



トオリニワイメージ



トオリニワ(ガイダンスゾーン)イメージ



レストランイメージ





※パース・写真はあくまで基本設計段階のイメージです。
実際の詳細な納まり検討により見え方は異なる部分があります。

外構計画 (配置・動線計画)

設計方針

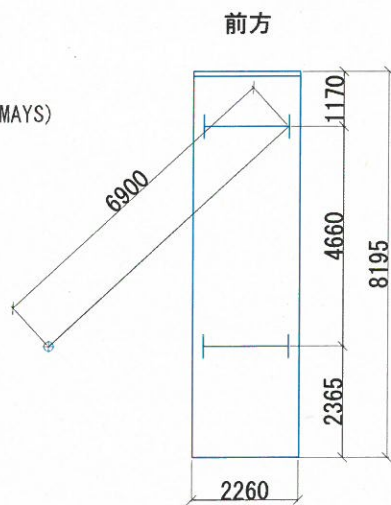
- ① 平等院や宇治橋方向への歴史軸や宇治川沿いの緑地を意識し、周辺環境と一体的な賑わい溢れる空間を創出する。
- ② 主園路は、多くの人の往来や管理車両等の通行を考慮し W=2.5m。副園路は、散策路としての機能を考慮し、W=1.5m以上の幅員確保とする。
- ③ 駐車場は、駐車場法及び機能性に配慮した幅員 W=5.5m・駐車枠 2.5×5.0m とする (仮設駐車枠は、最小値の 2.3×5.0m) (駐輪場は、0.5×2.0m)。
- ④ 身障者駐車台数は、120 (駐車台数) ÷ 50 (基準係数) = 2.4 ≒ 3 台とする。
- ⑤ バックヤードは、搬入車両の出入庫及び転回スペースの確保を行う。

- 凡例 -

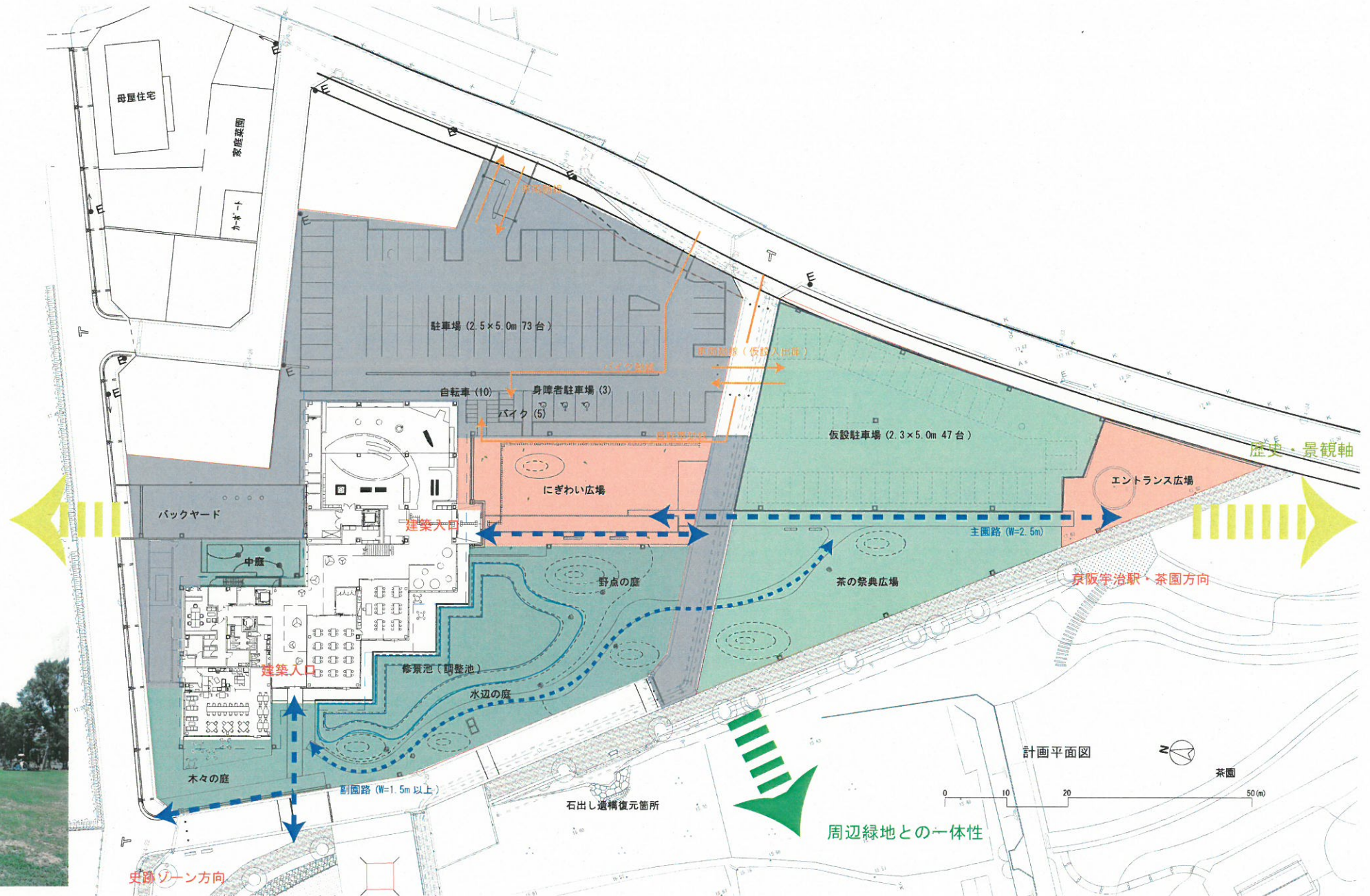
	広場空間 (舗装)		庭空間
	広場空間 (芝生)		その他

<搬入車両想定寸法>

参考車両：ISUZU 中型車 (FRR90S2-MAYS)
 長さ：8.195m 幅員：2.26m
 最小回転半径：6.9m



<空間イメージ>



3-12. 外構計画 (植栽計画)

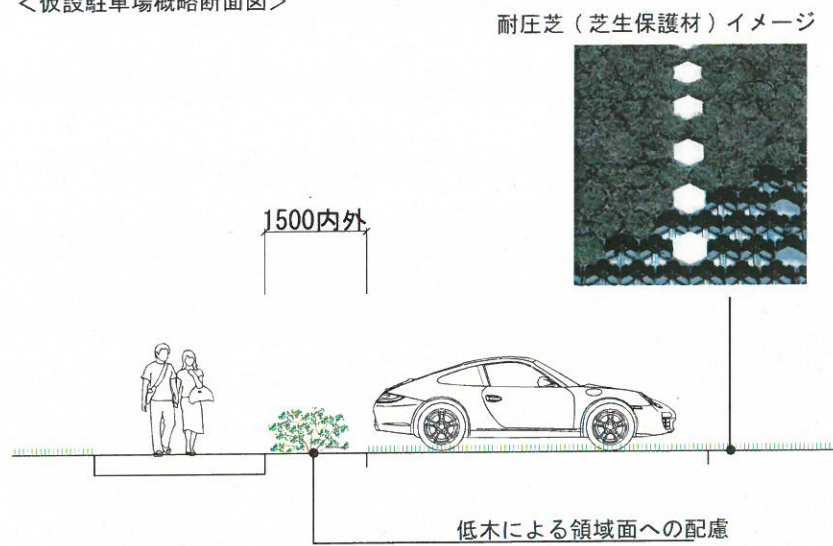
設計方針

- ① 建築側から芝生広場への築山や樹木配置により、奥行きのある空間かつ『透かし』『見え隠れ』『囲まれ感』といった庭園らしい景観形成を図る。
- ② 自然樹形の美しい原生種や日本庭園に用いられる樹種を中心に、四季の彩りや移ろいを創出する。
- ③ 使用する芝生は、維持管理を考慮し省管理型芝 (ヒメノ、TM9 等) を使用する。
- ④ 臨時駐車場部分は、耐圧芝 (芝生保護材) とすることで、通常利用時における敷地全体の一体性を高める。また、安全面に配慮した低木帯を設ける。
- ⑤ バックヤード等のスペースが少ない箇所は、生垣 (カクレミノ・イチイ等) による修景を行う。

- 凡例 -

	常緑中高木		低木
	落葉中高木		地被類
	花木 (サクラ)		芝生

< 仮設駐車場概略断面図 >



< 参考候補主要樹種 >

- 常緑中高木
モッコク、シラカシ、クロガネモチ、イヌマキ、ソヨゴ等
- 落葉中高木
ヤマボウシ、イチヨウ、エゴノキ、イロハモミジ・サルスベリ等
- 花木 (サクラ)
オオシマザクラ、エドヒガン、カンヒザクラ、ジュウガツザクラ等
- 低木地被類
アオキ、サツキツツジ、ヤマブキ、ニシキギ、マンリョウ、マンサク
ハイバクシン、ギボウシ、コグマザサ、タマリユウ等

※ 中庭部分の具体プランは、実施設計にて検討予定。

